



校長講話 6/1 人権教育月間 ～思いやいの心～

皆さんおはようございます。今日は、皆さんがお友だちとどんな言葉をかけあったらみんなが仲良く生活できるのかということについて考えてみようと思います。

それでは、ここにひとつの詩を出します。先生が読みますので、じっときいてください。目で文字をおいながら、心の中で読んでください。

『こだまでしょうか』 金子みすず作

「あそぼう」というと

「あそぼう」という。

「ばか」というと

「ばか」という。

「もうあそばない」というと

「あそばない」という。

そうして、あとでさみしくなって、

「ごめんね」というと

「ごめんね」という。

こだまでしょうか、いいえ、だれでも。



この詩は金子みすずさんが書きました。皆さんはこの詩からどんなことを感じますか。こだまって知っていますか。こだまって、トンネルの中や、山に登って「ヤッホー」と大きな声で言うと、「ヤッホー」と同じ言葉が自分に返ってきます。だから、遊ぼうっていうと遊ぼうって返ってきます。馬鹿って言うとなんて返ってくるのかな？そうです。馬鹿って返ってきます。金子みすずさんが、この詩を書いた気持ち、皆さんに伝えたい気持ちを考えてみましょう。最後の「だれでも」というのは、「人間も」「こだまも」同じということじゃないかな。私たち人間も、お父さんもお母さんもお友だちも先生も、「こだま」と同じように、同じ言葉を繰り返すよと言っているのかもしれない。ただ言い返すだけじゃなくて、「遊ぼう」と言われたら、「自分も一緒に遊びたくなる」、反対に「馬鹿」と言われたら、「馬鹿」と言い返したくなるっていうことなんだね。人間はみんな、相手に優しい言葉を言ったら、言われた方も優しくなって、優しい言葉が返ってきます。反対に、「馬鹿」とか、傷つく言葉をかけたら、言われた方も相手が嫌いになって、「馬鹿」と言い返してしまいます。「大人も子どもも、こだまと同じように、『温かい言葉』をかけられると不思議と相手に温かい気持ちを持ち、『温かい言葉』を返したくなるし、逆に、『傷つく言葉』をかけられると、なぜか相手に『傷つく言葉』を平気で返してしまうのです。

いじめとか意地悪とかということは、こういう「相手が傷つく言葉のこだまから始まる」のです。そして言葉だけではありません。目の前のことは、自分の鏡なのです。鏡のようにやってくるのです。目の前のことが、自分の姿を写しているのです。だから、もし目の前の人に笑顔がないのは、優しさがいないのは、自分の顔に笑顔が、優しさがいないのかもしれないね。みすずさんの詩の「こだまでしょうか」の最後は、「いいえ誰でも」で終わっていますが、きっと、その答えは「それは自分」なのかもしれないね。校長先生は、不満などを解決していくやり方は、自分の心の中にあるかもしれないとも思っているのです。教室の中に「思いやりのない言葉のこだま」が少しでも聞こえたら要注意です。みんなで「温かい言葉のこだま」が響く教室、「すてきな笑顔いっぱい」の教室を作ってほしいなと思います。

最後にみんなのよく知っているドラえもんのお話をします。『のび太の結婚前夜』というお話の中に、心に残る言葉があるので紹介します。のび太君が、しずかちゃんと結婚できるかなあと心配になってドラえもんと一緒に未来を見に行きます。透明マントを着て見えないようにしてタイムマシンに乗ってしずかちゃんとの結婚式の前の日の様子を見に行きました。するとしずかち

ゃんが、「パパ！わたし、お嫁に行くのやめる。私が行っちゃったらパパ寂しくなるでしょ。これまで、ずっと甘えたりわがまま言ったり…、それなのに私の方は、パパやママになんにもしてあげられなかった」と言うのです。パパは、しずかちゃんが生まれてきてくれたことが最初の贈り物で、その後も、しずかちゃんから沢山の贈り物もらったことを話します。そして、「のび太さんとうまくやっていけるかしら…」と心配するしずかちゃんにパパはこう言います。「あの青年（のび太君）は人の幸せを願い、人の不幸を悲しむことのできる人だ。それが人間にとって一番大事なことなんだからね。彼なら、まちがいなく君を幸せにしてくれると信じているよ。」という言葉です。のび太君のような人は、相手を思いやる心を持っている人です。みんなも、やさしい人になってください。相手の気持ちを考えられる人になってください。自分から笑顔を送信できる人になってくださいね。

実は、もう皆さんの中には笑顔を送信できている人もいます。先日、井口先生が、パトロールの講習会に出席した時のことです。いつも皆さんを朝夕、見守ってくださっている中谷さんが、こう言われたそうです。「旭ヶ丘小学校の子どもたちは評判がいいですよ。挨拶がしっかりとできていて、その元気をもらっていますよ」と…。嬉しいですね、褒められるって。あいさつは交流の始まり、まさに相手の心を温かくします。ですから、友だちと気持ちよく挨拶ができる人になってくださいね。

旭ヶ丘小学校は、交通安全子供自転車大会において、地区大会及び県大会に連続出場して活躍していること、交通安全に努めていることから、長野県警察本部長、長野県交通安全協会会長の連名による感謝状をいただきました。みなさん、これからも自転車の乗り方、歩き方、ルールを守って安全第一をお願いします。



信州型コミュニティースクールの活動

5月17日（火）に、旭ヶ丘地域づくりプロジェクトの皆さんと学校職員で花の種をまきました。小さな種を一粒ずつまくのは大変根気のいる作業ですが、子ども達の笑顔の花と花壇のきれいな花がたくさん咲くことを想像しながらまきました。育った苗は子ども達と一緒にポットに移し替え、それを中庭の花壇に全校児童で定植させる計画です。



5月30日（月）に、信州型コミュニティースクール運営委員会を行いました。学校評議員の皆さんに運営委員を兼ねていただいています。今年度は、ふれあいプラザの館長さんと教頭が2人制のコーディネータになって推進していきます。今まで、保護者や地域の皆さんの協力を得ながら行っていた子ども達を伸ばす活動を、さらに広げていきたいものと考えています。

